

新型コロナウイルス感染症関連情報 ③

先週に続き、市の災害対策本部、市議会災害対策支援本部役員会議が連日開催されています。

また3月9日、党議員団の佐藤みち子議員は、一般質問冒頭に一律学校休業問題で問題点の指摘と要望を行いました。(裏面に発言を紹介しています)

1、市内では4人の陽性(コロナ感染者) PCR検査は累計33件

3月1日に一人目の陽性が発生して以降、3月9日現在4人の患者が発生しています。うち2人はクラスターが発生した大阪のライブハウスを利用していました。また、80代女性は伊丹市から市内の病院に救急搬送されたのちに、感染が判明したものです。

2、健康医療相談(保健所)、一般相談の件数

陽性発生翌3月2日をピークに2月3日以降3月7日までの保健所による健康医療相談電話件数は1,063件。また、一般相談電話件数も同様に設置の2月28日以降3月8日までで483件です。

市では、全戸配布される3月10日付市政ニュースに両電話相談を告知しているため、今後も増加するとしています。

3、市備蓄マスクの配布を医療、介護、保育分野に配布

感染リスクが高い医療、介護、保育の分野でマスク不足が生じており、市は備蓄から20万枚緊急配布することに。9日には医師会等医療3団体に配布し、今週中に介護施設・事業所と民間保育所等に届くようにしたいとしています。

不安が広がる学校現場から

教員の皆さんと懇談しました

- 3月は子どもたちにとって成長の節目。担任から通知表をもらって、先生や友達と別れ、現学年にけじめをつけて4月から1学年大きくなることを確認する大切な月だ。進級によって担任が変わる、また転校する子もいる。6年生は卒業、中学3年生は卒業と高校入試という大きな節目であり、心を砕いたきめ細かい指導が必要。それができないのは大変つらい
- 震災や新型インフルの際の休校は子どもも親も教師もまだ納得感があった。しかし今回は違う。経済、社会の成立のために保育所や学童保育が開いており、アンバランスすぎる。子どもが大きな流行の原因になることは少ないという専門家の意見もある。
- 子どもたちのみならず高齢者もうつうつとしている。どこか一つでも突破口があればこの不安感は払拭できるのではないか。一律休校をやめることがそれになるのでは
- 安倍首相のいうままに、いち早く休校を決めたのはおかしい。本来休校を決定する教育委員会会議を開催していないと聞いている。子どもの教育権を奪い、友達を奪った。
- 各学校の判断、教育委員会での判断で、3月中には登校を可能にして欲しい。

日本共産党 2020.3.10/No.712

西宮市議員団ニュース

西宮市六湛寺町 10-3

TEL35-3368 FAX22-7815

市ホームページをご覧になれない方のため、市発表の情報などをもとにこのニュースを発行しています。

佐藤みち子議員の一律学校休業問題での発言をご紹介します。

(3月9日 本会議一般質問)

国民、市民に大きな不安と混乱をもたらしている小中高校、特別支援学校での「全国一律休校」問題についてです。安部首相が、2月27日、夕刻、専門家会議の意見も聞かず突如打ち出したことを受け、本市では同日夜に検討し、翌朝8時災害対策本部で、3月3日から春休みまで一斉休校すること等を決定しました。

このたびの市の決定は、教育長、教育次長も出席している市災害対策本部の場で行われていますが、学校の臨時休業は学校保健安全法第20条を根拠としており、学校の設置者つまり実質的に学校を管理運営する教育委員会が決定すべきものでした。

後日、教育次長からは正式な手続きとしては教育委員5名で相談し意見を聴く必要があったと、反省ともとれる見解が私どもに示されましたが、兵庫県は翌日教育委員会会議を開催して決定したと聞いています。本市がきちんとした民主的な手続きを怠ったことは大変遺憾であり、今後、精査していきたいと指摘しておきます。

さて、休校から1週間となり、子どもや保護者のストレスが増してきているのではないのでしょうか。うつうつとした不安感が社会全体に必要以上に漂っている中で、25日まであと2週間以上も休校が続けば、子どもだけをとっても新たな問題が生じる恐れがあります。

先生たちから、3月は子どもたちにとって成長の節目の月、締めくくりの大事な月にあたりと聞きました。今の担任の先生に通知表をもらって、先生やお友だちと別れ、現学年にけじめをつけて4月から1学年大きくなることを確認する、それが3月です。

6年生は卒業、中学3年生には卒業と高校入試という大きな節目があり、心を砕いたきめ細かい指導が必要です。そのために、春休みまでには登校を可能にし、子どもたちが集まることがとても大事です。

また、一方で経済や社会を成立させるために保育所や学童保育は開いており、余りにもバランスを欠いているのではないか、という意見もお聞きました。その通りだと思います。インフルエンザと違って子どもが流行の大きな原因になることは少ないという専門家の指摘もあります。

これらのことから、一斉休校をしかるべき時期に解除して、校長や教職員の考えを尊重し、各学校に応じた対応を可能とするよう教育委員会で検討決定することを求めます。学校再開にあたっては、もちろん新型コロナウイルス感染拡大防止について、万全の措置をしなければなりません。学校でも手洗いや検温等を徹底させるため、せっけん、消毒液やペーパータオル等を準備するなどの対策が必要です。

以上、要望します。

お困りごと、要望、情報などは市議員団（35-3368、fax22-7815）、西宮芦屋地区委員会（23-2281、fax36-2630）までお寄せください。